

青森県から北海道へ

氏名 櫻井千鶴

青森県立青森第一養護学校 → 北海道真駒内養護学校

(期間：令和4年4月1日～令和6年3月31日)

1 青森県の特別支援教育

○青森県の特別支援学校



○学校教育指導の方針と重点

1 方針

郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く幼児児童生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意工夫をこらし、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進に努める。

2 重点 (抜粋)

【特別支援教育の充実】

発達障害を含む障害のある子どもなど特別な配慮を必要とする子どもが、障害等による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するとともに、そのもてる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

ア 校内支援体制の充実

イ 個別の教育支援計画の作成と活用による関係機関と連携した支援の充実

ウ 個別の指導計画の作成と活用による指導の充実

エ 交流及び共同学習による相互理解の促進

2 学校や地域の特色ある教育活動

○肢体不自由のある児童生徒のための教育

- ・青森第一養護学校は、小学部と中学部が設置され、肢体不自由のある児童生徒への専門的な教育を行っている。
- ・「自立と社会参加を目指し、児童生徒一人一人の個性や可能性を伸ばして、主体的で豊かに生きる人間を育てる。」ことを目標に、健康で、自ら学び、仲良くする子どもを育てることを目指し、教育活動に取り組んでいる。
- ・隣接する「青森県立あすなろ療育福祉センター」と密接な連携に努めている。理学療法士や作業療法士を招いて研修するなど、教職員の専門性の維持、向上も図っている。

○地域との関わり

- ・互いの理解を深めたり、社会性を身に付けたりすることをねらい、近隣の小中学校との学校間交流や居住地校交流などの交流及び共同学習を行っている。
- ・地域の方に学校のことを知ってもらうとともに、児童生徒がいろいろな人と触れ合う喜びや楽しさを経験できるように、地域の方々を招いてポッチャなどのスポーツ交流を行っている。

○「いっちゃん」のいる学校

- ・マスコットキャラクターの「いっちゃん」がいたる学校として親しまれている。「いっちゃん」のイラストや着ぐるみがさまざまな行事や学習活動で活用され、児童生徒の意欲関心を引き出すために一役買っている。



3 私に取り組んできた実践

準ずる教育課程の児童を担任することが多く、各学年とも以下の2点に重点を置いて指導に当たった。

○基本的な学習態度の育成と当該学年の基礎学力の習得のために

- ・学習のきまりやノートの使い方などを継続して指導し、基本的な学習習慣の定着を図った。
- ・新しい単元に入る前にレディネステストを行い、児童の実態を把握するとともに必要な既習内容についての復習をしてから学習を進めた。
- ・生活経験の不足を補うため、具体物の操作、視覚教材の活用、劇化等を学習の中に取り入れるようにした。
- ・主体的に学習に取り組み、考える力をのばすためのワークシートを作成した。

○障害特性が及ぼす困難さの軽減を図り、児童ができることを増やすために

- ・更衣動作に必要な手指の動きを自立活動で学習した。
- ・実態に合った当番活動を設定し、自己肯定感や自主性の向上を図った。
- ・身体の不自由さを補うための扱いやすい用具を自作したり、動きやすい環境を整えたりした。

